

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立がん在宅緩和ケア支援センター ういケアみなと						
指定管理者	学校法人慈恵大学						
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	港区みなと保健所健康推進課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	7	5	2	2	0	2		9
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		0	0	0				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
施設利用者数(人)	2,230	1,986	2,212			
がん相談件数(件)	301	336	343			
アピアランス相談件数(件)	5	10	17			
両立支援個別相談件数(件)	10	19	10			
イベント開催数	119	120	118			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
経費実績	収入	80,632,541	71,568,492	78,547,224	0	0	
	指定管理料(清算後)	80,632,541	71,568,492	78,547,224			
	利用料金収入	0	0	0			
	その他収入	0	0	0			
	支出	80,117,903	71,009,821	78,157,742	0	0	
	職員人件費	49,809,835	46,635,194	53,421,359			
	光熱水費	1,047,706	1,147,498	1,115,765			
	修繕費	99,000	42,800	122,100			
	事業運営費	13,785,036	7,834,676	7,874,545			
	施設管理経費	4,247,326	4,281,653	4,513,973			
その他経費	11,129,000	11,068,000	11,110,000				
差引収支額	514,638	558,671	389,482	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	86,184,000	80,134,000	80,931,000				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	1 / 5	×3	3 / 15
区による評価合計点					88 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	当施設には、看護師ががん専門相談員として常駐している。令和7年度の年間がん相談件数は、開設以来最多であった。 職員体制については、中途退職者は出さずに安定的に人材確保ができています。各々が自律的に学び、高め合える職場環境をつくるため、管理者勉強会の開催に加え、外部研修や学会にも積極的に参加した。事業の拡充と共に、基準・手順を見直し、業務の標準化、効率化を図った。看護師と事務員が協力し補完関係を築きながら、年間約120のプログラムを実施した。 令和7年度は、認知度調査の実施、第三者評価受審など、施設の運営を客観的に評価する機会があった。課題が明確化したため、今後の目標設定に反映させていく。
区（施設所管課）による評価	専門性の高い相談体制を整備し、年間相談件数が開設以来最多となりました。利用者ニーズに的確に応えた結果であり、地域における役割を十分に果たしているものと認められます。 また、外部研修や学会参加の推進など、職員の資質向上に積極的に取り組んでいることも評価できます。 認知度調査の実施や第三者評価により、明らかとなった課題を踏まえ、具体的な改善策と目標設定を行い、さらなるサービスの質の向上と施設運営の充実につなげていくことを期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）